

東海大学

学部案内

2022

湘南
キャンパス

健康学部

健康マネジメント学科



Health is better than wealth

Exercise

Social Well

Solution

Mental Health

Nutrition

1 Credit = 45h

1 Day = 24h

1 Week = 168h

1 Year = 8760h

4 Years = 35064h

80 Years = 701280h

Healthy Ageing is about creating the
and opportunities that enable people to
what they value throughout their lives



健康を学ぶことは 未来の幸せをつくること

あなたは「健康」という言葉から、何を思い浮かべるでしょう。

WHO（世界保健機関）では、健康とは“身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、病気あるいは虚弱でないことではない”としています。

つまり、からだと心ばかりでなく学校や家庭、職場などで生活や人間関係まで含めてうまくいっていることによってその人が幸せと感じている状況が「健康」であると言え、一人ひとりの健康が、社会全体の幸せや健康をつくっているのです。

しかし、少子高齢化や経済格差、自然災害などに加え、ウイルス感染拡大の危機に直面する社会では、今ある幸せが将来的にも続くとは限りません。

だからこそ、人々の健康を損ねるさまざまな問題に挑み、解決していく人材が求められているのです。

これからの人と社会を、もっと笑顔に、もっと健康にするために。



ハイリスクな人はどこに？
どうすれば助けられる？



わたしの老後は
どう変わる？



どうすれば誰かを
幸せにできる？



美容やダイエット、
どれを信じればいい？



どんな運動したら
健康にいいの？

5つの領域から、
“健康”に関わる課題解決を追究

ソーシャルウェルネス

Social Wellness

超高齢社会における新たな課題を、コミュニティや資源のマネジメントの視点から解決できるプロフェッショナルが求められています。

ソリューション

Solution

新しい発見や可能性につながる情報の収集とデータを分析する力。相手の立場や環境からストレングスを理解し、課題を解決する力が求められています。

メンタルヘルス

Mental Health

社会問題を反映させるように増えるうつ病や自殺などの新たな課題を、企業や自治体などの組織経営という視点から解決できる専門職が求められています。

運動

Exercise

生活習慣病や寝たきりの予防をはじめ、QOL(生活の質)全般の向上に貢献する運動の専門知識は、幅広い現場で必要とされています。

栄養

Nutrition

食の安全性、アンチエイジングをはじめ、さまざまな疾病予防に直結する栄養管理の知識は、社会全体の健康増進に必要不可欠です。

Webで健康学部の
最新情報をチェック！

学科HPは
こちら▶



学科公式
Twitterは
こちら▶



東海大学では建学の精神に基づき、
「自ら考え、集い、挑み、成し遂げる」これら4つの力を
身に付け、時代に即応できる人材を育成します。

各学部・学科のアドミッション・ポリシーは、東海大学
受験生情報サイトにてご確認ください。



<https://www.tokai-adm.jp>

健康を多角的・総合的に学び マネジメント力を育成

健康をマネジメント する力を身に付ける

食・栄養、運動、メンタルヘルス、コミュニティ福祉の専門知識を基に、「健康」を多角的に学び、課題解決の技能を生かし、幅広いフィールドで活躍できる人材に。

ソーシャルウェルネス

個人の健康を損なう環境要因としての家族、コミュニティ、組織、国の機能を理解する体験的な授業を踏まえ、組織マネジメント、ネットワーキングを学びます。



ソリューション

調査・統計・分析の技術と相談援助の技術を学び、課題解決を推進する力でソーシャルウェルネス、メンタルヘルス、運動、栄養の4つを結びます。



健康 マネジメント力

メンタルヘルス

心理学、精神医学といった内面の学問に加え、現代社会のつくる病として精神保健の課題を幅広く学びます。



運動

健康づくり運動の実技や指導法などの実践的な授業に加え、身体のメカニズムや運動とこころの関わりについて幅広く学びます。



栄養

これまでの栄養学の枠を超えて人の遺伝子レベルから細胞までの科学的エビデンスに基づいて幅広く人の栄養と健康について学びます。



健康学部の4つの特徴

1. 多様な資格が取得可能

- 社会福祉士国家試験受験資格 ■精神保健福祉士国家試験受験資格
 - 健康運動実践指導者受験資格 ■トレーニング指導者受験資格
 - NR・サプリメントアドバイザー受験資格 ■社会調査士
 - フィットネスクラブ・マネジメント技能士受験支援
- ※いずれの資格も所定の条件を満たす必要があります。

2. データに基づくセルフケアの実践

入学から卒業まで、自分の体重、筋力、骨密度などのデータを収集し、分析することで、健康状態を科学的に理解します。

3. 実践力を培う多彩なプログラム

低年次より、地域や海外でのフィールドワーク、企業・自治体・NPOなどでのインターンシップを実施し、幅広いフィールドでの実践力を高めます。

4. 東海大学ならではのネットワーク活用

医学部などと連携した教育活動を提供。地域自治体など学外連携も強化し、フィールドワークの実施など、実際の課題に即した学びを展開します。

先輩からのメッセージ

Message 01



大場 脩平さん
3年次
東北学院高等学校(宮城県)出身

興味の先に幅広い実践的な学びがある日々

私は高校時代にナショナルトレーニングセンターを利用したことがきっかけで「健康」と「身体メカニズム」に興味を持ちました。健康に関わる多様な分野の知識・技能習得に加えコーディネート力やマネジメント力を兼ね備えることを求められるため、複数の分野から幅広く学べるカリキュラムが用意されています。現在、私は「運動」と「栄養」に関する授業を主に学んでおり、データの分析・解析で健康をマネジメントできる力を身に付けて将来は活躍したいと考えています。

大場さんの時間割(秋学期)

	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri
1限					
2限	遺伝と環境	現代文明論		健康統計学	
3限		社会保障B	生命倫理学		
4限	健康学専門演習2	アカデミック英語		加齢と栄養	アカデミック英語

※2020年度の実績例

Message 02



鈴木 真菜さん
4年次
県立川口北高等学校(埼玉県)出身

授業で得た知識を私生活で生かせるように

私は健康学部の運動分野に興味があり、入学しました。運動だけでなく栄養や福祉などの分野を学ぶことができ、「健康」がそれぞれの分野でどのように関係しているのか広い視点で学ぶことができます。また、私は授業で得た知識を日常生活でも生かせるよう心がけています。現在は健康に関する法律や制度について勉強をし日本がどのような対策をしているのか、その現状や課題を通して自分に何ができるかを考えています。

鈴木さんの時間割(春学期)

	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri
1限				運動療法と介護予防	健康・スポーツ概論F
2限	介護学入門	社会統計学	健康経済論	コミュニティデザイン論	公共政策
3限	機能栄養学	社会調査法	健康学専門演習3		
4限		運動による外傷・障害と救急処置			

※2020年度の実績例

Message 03



真壁 夕奈さん
4年次
横浜市立戸塚高等学校(神奈川県)出身

科学的エビデンスに基づく「判断力」を育む

私は将来、情報・統計・分析といった科学的エビデンスに基づいた判断する技術を身に付けて健康増進に貢献したいと考えています。健康学部では5つの領域を学ぶことができるので私は「ソリューション」を軸に他領域を学び、幅広い視野を持って健康という複雑な課題にアプローチするように心がけています。また、この学部では複数の資格が取得可能で3年次にトレーニング指導者の資格を取得することができたので、今後は他領域の資格取得にも挑戦予定です。

真壁さんの課外活動

健康バスに参加し自治会館などを回り実際に市民の健康度測定を行いました。また、東海大学体育学部との産官学連携である健康寿命延伸事業から生まれた大磯町での「ロコミル」「アンチロコモ教室」にも参加しました。

Message 04



正木 千晴さん
4年次
県立伊勢原高等学校(神奈川県)出身

疑問とひらめきが自分を奮立たせる武器に

聴覚障がいを持つ私は日々過ごす中で、さまざまな疑問を抱えてきました。そして、望みの実現化が難しいのは見えない所に理由があり、ジレンマが生じると知ったことがきっかけで、今は「社会福祉」に興味を持っています。将来は、多くの人に楽しい気持ちで芽生えるような環境をつくりたいです。

正木さんの課外活動

エコージュニア活動(中学生以上の発達障がい者と大学生コーチと一緒に運動をする活動)や手話交流会、ノートテイク講習会のボランティアを中心にしています。大変なことがあるぶん、気付けてくれるものが私を楽しませてくれます。

健康を多角的に捉え

5つの領域を横断的・専門的に学ぶ

課題発見・解決のための多様な視点を育む

ゼミナール

- 卒業研究4
- 卒業研究3
- 卒業研究2
- 卒業研究1
- 研究活動4
- 研究活動3
- 研究活動2
- 研究活動1
- プレ研究活動2
- プレ研究活動1
- アカデミックスキル
- 入門ゼミナールB
- 入門ゼミナールA

学外実習

フィールドワークC

フィールドワークB

フィールドワークA

運動

- 運動による外傷・障害と救急処置
- 運動療法と介護予防演習
- 健康と運動の生理学
- 健康と運動の心理学
- 健康づくり運動の理論とプログラム
- 機能解剖とバイオメカニクス
- 健康づくり運動の実技と指導D
- 健康づくり運動の実技と指導C
- 健康づくり運動の実技と指導B
- 健康づくり運動の実技と指導A

ソーシャルウェルネス

- | | |
|--------------|-------------|
| 福祉サービスの組織と経営 | 障害者と福祉 |
| 権利擁護を支える法制度 | 高齢者と福祉 |
| 社会保障A | 子ども家庭と福祉 |
| 保健医療サービス | 貧困に対する支援 |
| 健康経済論 | 地域福祉と包括的支援A |
| 健康政策 | 社会福祉の原理と政策 |

ソリューション(データサイエンス)

- 健康情報解析法
- 健康統計学
- 社会統計学
- 社会調査法

健康を学ぶ基盤科目

- | | |
|-----------------|-------------|
| 健康マーケティング論 | コミュニティデザイン論 |
| 健康とソーシャルイノベーション | 心理学 |
| 公衆衛生学 | 社会学 |
| 心と身体のしくみ | 健康と栄養 |
| 健康と産業 | 健康と福祉 |
| 協働の理論と方法 | ソーシャルワーク基礎1 |

独自のカリキュラム

確かな専門知識・技能と共に、
課題解決に必要なネットワーク力やマネジメント力を発揮し、
健康社会の課題に総合的に対応することができる人材を育成します。
※予定されている科目であり、変更の可能性があります。

メンタルヘルス

精神医学2
精神障害リハビリテーション論
精神保健の課題と支援2
精神保健ソーシャルワークの理論と方法2
精神保健ソーシャルワークの理論と方法1
精神医学1
精神保健の課題と支援1
精神保健ソーシャルワークの基礎1

ソリューション(ソーシャルワーク)

ソーシャルワーク演習2
ソーシャルワーク演習1
ソーシャルワークの理論と方法A1・A2
ソーシャルワーク基礎2

栄養

身体の変化を捉える技術
健康科学実験
老年医学
栄養マネジメント学
食品の科学
分子栄養学
機能栄養学と食品開発
代謝と栄養
加齢と栄養
美と健康の科学
基礎栄養学

資格関連科目

ヘルスリサーチの実践
健康運動指導法演習
精神保健ソーシャルワーク演習3
精神保健ソーシャルワーク演習2
精神保健ソーシャルワーク演習1
精神保健ソーシャルワーク実習
精神保健ソーシャルワーク実習指導
精神保健ソーシャルワークの基礎2
精神保健福祉制度論
ソーシャルワーク実習2
ソーシャルワーク実習1
ソーシャルワーク実習指導
ソーシャルワーク演習5
ソーシャルワーク演習4
ソーシャルワーク演習3
刑事司法と福祉
ソーシャルワークの理論と方法B1・B2
社会保障B
地域福祉と包括的支援B

社会の仕組みを理解し、「健康」の専門知識・技能を学ぶ

健康と運動
生命科学の基礎
ヘルスリサーチ入門
健康学概論



興味・関心に合わせて 自由にデザインできる履修モデル^{※1}

MODEL.01

健康分野のマネジメントリーダーとして活躍したい。

健康予防、保健、医療、福祉の複合的な専門知識と、社会資源のコーディネート、マネジメント能力を身に付けます。また、他分野の基礎科目をバランスよく履修し視野を広げます。



	1年次			4年次
基幹科目	<ul style="list-style-type: none"> 健康学概論 健康学入門演習1・2 フィールドワークA 	<ul style="list-style-type: none"> プレ研究活動1・2 フィールドワークB 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究3・4 フィールドワークC
ソーシャルウェルネス	<ul style="list-style-type: none"> 健康と福祉 社会福祉の原理と政策 社会学 	<ul style="list-style-type: none"> 健康マーケティング論 地域福祉と包括的支援A・B 健康経済 健康と産業 高齢者と福祉 保健医療サービス 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティデザイン論 健康政策 福祉サービスの組織と経営 健康とソーシャルイノベーション 協働の理論と方法 	
ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスリサーチ入門 健康統計学 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワークの理論と方法A1 	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査法 健康情報解析法 社会統計学 	
栄養	<ul style="list-style-type: none"> 基礎栄養学 美と健康の科学 生命科学の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> 加齢と栄養 栄養マネジメント学 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の変化を捉える技術 	
運動	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり運動の理論とプログラム 	<ul style="list-style-type: none"> 健康と運動の生理学 健康づくり運動の実技と指導C・D 	<ul style="list-style-type: none"> 運動による外傷・障害と救急処置 	
メンタルヘルス	<ul style="list-style-type: none"> 心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 健康と運動の心理学 		



MODEL.02

栄養の専門家として商品・サービスを開発したい。

老化・生活習慣病のメカニズムに対する生命科学的な知見と専門知識を習得します。また健康や疾病・介護予防などに役立つ商品・サービスを開発するための知識・技術も培います。



	1年次			4年次
基幹科目	<ul style="list-style-type: none"> 健康学概論 健康学入門演習1・2 フィールドワークA 	<ul style="list-style-type: none"> プレ研究活動1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究3・4
ソーシャルウェルネス		<ul style="list-style-type: none"> 健康と福祉 地域福祉と包括的支援A・B 社会学 公衆衛生学 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティデザイン論 健康経済論 福祉サービスの組織と経営 非営利組織論 	
栄養	<ul style="list-style-type: none"> 健康と栄養 基礎栄養学 代謝と栄養 美と健康の科学 食品の科学 	<ul style="list-style-type: none"> 分子栄養学 加齢と栄養 栄養マネジメント学 	<ul style="list-style-type: none"> 機能栄養学と食品開発 健康科学実験 身体の変化を捉える技術 	<ul style="list-style-type: none"> 老年医学
運動	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり運動の理論とプログラム 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり運動の実技と指導A・B 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり運動の実技と指導C・D 健康と運動の生理学 機能解剖とバイオメカニクス 	
ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワーク演習1 	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスリサーチ入門 健康統計学 	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査法 ソーシャルワーク基礎1・2 健康情報解析法 社会統計学 	
メンタルヘルス	<ul style="list-style-type: none"> 心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 心と身体のしくみ 		



MODEL.03

ソーシャルワーカーとして人々の生活を支えたい。

社会福祉士・精神保健福祉士の資格取得※2が目標です。運動と栄養の基礎を学び、適切な指導や助言ができる力の習得を目指します。両方の資格を取ることも可能です。



	1年次		4年次	
基幹科目	<ul style="list-style-type: none"> 健康学概論 健康学入門演習1・2 フィールドワークA 	<ul style="list-style-type: none"> プレ研究活動1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究1・2 フィールドワークC 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究3・4
ソーシャルウェルネス	<ul style="list-style-type: none"> 健康と福祉 社会学 社会福祉の原理と政策 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉と包括的支援A・B 高齢者と福祉 子ども家庭と福祉 社会保障A・B 保健医療サービス 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティデザイン論 貧困に対する支援 権利擁護を支える法制度 協働の理論と方法 非営利組織論 福祉サービスの組織と経営 	<ul style="list-style-type: none"> 公共政策
ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワーク基礎1・2 ソーシャルワーク演習1 	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスリサーチ入門 ソーシャルワークの理論と方法A 1・2 ソーシャルワーク演習2 	<ul style="list-style-type: none"> 社会調査法 社会統計学 ソーシャルワークの理論と方法B1・2 	
栄養	<ul style="list-style-type: none"> 健康と栄養 	<ul style="list-style-type: none"> 加齢と栄養 		
運動	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり運動の理論とプログラム 		<ul style="list-style-type: none"> 運動療法と介護予防演習 	
メンタルヘルス	<ul style="list-style-type: none"> 心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 心とからだのしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健ソーシャルワークの理論と方法1・2 精神医学1・2 	



MODEL.04

運動の理論と技能に基づき、健康増進に貢献したい。

2年次までに「健康と運動」の科目群を積極的に履修し、在学中に運動指導者関連資格を取得することを目指します。3年次以降は、インターンシップなどを通じて実務能力を養います。

	1年次		4年次	
基幹科目	<ul style="list-style-type: none"> 健康学概論 健康学入門演習1・2 フィールドワークA 	<ul style="list-style-type: none"> プレ研究活動1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究3・4
ソーシャルウェルネス	<ul style="list-style-type: none"> 健康と福祉 社会学 	<ul style="list-style-type: none"> ウェルネス経営論 健康経済論 高齢者と福祉 健康と産業 	<ul style="list-style-type: none"> 健康と福祉 協働の理論と方法 障害者と福祉 保健医療サービス 福祉のサービスの組織と経営 非営利組織論 コミュニティデザイン論 地域福祉と包括的支援A・B フィールドワークC 健康とソーシャルイノベーション 公共政策 	
運動	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり運動の理論とプログラム 健康づくり運動の実技と指導A・B 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり運動の実技と指導C・D 健康と運動の生理学 機能解剖とバイオメカニクス 運動による外傷・障害と救急処置 健康と運動の心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 運動療法と介護予防演習 社会統計学 ソーシャルワークの理論と方法B1・2 	
ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスリサーチ入門 健康統計学 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワーク基礎1・2 	<ul style="list-style-type: none"> 健康情報解析法 	
栄養	<ul style="list-style-type: none"> 健康と栄養 生命科学の基礎 基礎栄養学 	<ul style="list-style-type: none"> 分子栄養学 加齢と栄養 機能栄養学と食品開発 	<ul style="list-style-type: none"> 健康科学実験 身体の変化を捉える技術 老年医学 	
メンタルヘルス	<ul style="list-style-type: none"> 心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 心とからだのしくみ 		



※1: MODEL.01～04は、2021年度時間割を基に作成 ※2: 社会福祉士と精神保健福祉士を目指す場合は、他にも資格関連科目の修得が必要です。

Pick UP! 科目紹介



Pick UP. 01

フィールドワーク

実践力を育てるフィールド

健康学部のフィールドは、キャンパスだけにとどまりません。身近なフィールドから海外まで。興味や目標に合わせて、「フィールドワーク」や「インターンシップ」、本学の特色ある「海外留学制度」を活用して、自分に合ったスタイルで実践力を身に付けていくことができます。



自治体と連携した「健康バス」の活動

東海大学と神奈川県・周辺自治体が協力して行っている「健康バス」の活動。マイクロバスに体組成計や骨密度計、血圧計などの健康測定機器を積み込み、自治会館などを回って市民の健康度を測定し、健康度を実感してもらいます。世代を超えた交流を生み、学生は健康とは何かを実地で知ることができる貴重な体験になっています。データを解析し、成果を世の中に発信していきます。



筋トレの啓発活動を通じて健康づくりをサポート

幅広い世代を対象に書籍や雑誌、講習会、Webサイトなどを通じて、筋力トレーニングの啓発活動を推進していきます。

中高年に

加齢に伴う筋肉量の低下（サルコペニア）を防ぎ、骨を強くすることを目的とした、軽めの負荷でも効率よく効果が期待できる筋力トレーニングを紹介

若者世代や働き盛りの人たちに

運動不足になりがちな人に向け、自宅でも簡単にできる体型改善やメタボリックシンドローム予防を目的とした筋力トレーニングの情報を提供

子どもたちに

小・中学生やその指導者および保護者の方を対象に、成長期でも骨に過度な負担がかからない安全な筋力トレーニングの啓発活動を実施

フィールドワークC (デンマーク研修)

デンマークが国を挙げて行っている健康増進（ヘルス・プロモーション）や社会支援の取り組みを視察、またBOSEIホイスコーレに滞在し、運動や語学などのプログラムに参加、現地の学生と文化交流なども行います。



Pick UP. 02

健康と産業

今後ますます成長が見込まれる食品・医療機器・高齢者住宅・スポーツやフィットネス・ツーリズム・ICTなどの「健康産業」について、実際に企業家の話を聞きながら学んでいきます。

Pick UP. 03

ヘルスリサーチ入門

「社会制度」「運動」「栄養」などの分野から、調査・統計という“技”を用いて情報をキャッチするため、分析技術の種類や特徴、そして分析方法の基礎を学んでいきます。

Pick UP. 04

健康と運動の心理学

運動の心理学的な効果として、自身の向上や気分転換などのメンタルヘルスの要素も含まれます。健康の維持にどのように運動を取り入れるのか、指導法も含めて学んでいきます。

Pick UP. 05

美と健康の科学

「見た目」をキーワードに、肉体的な見た目を、体型、顔、皮膚、姿勢などの「身体的所見」として捉え、加齢や老化などさまざまな要因により、どのような変化が生じるか理解していきます。



健康マネジメントを 社会で実践する多彩な研究

社会・コミュニティ・組織の問題解決

公共政策の在り方や 経済学の観点からアプローチ

将来を考える上で、現在の社会制度・福祉制度や国の政策、ビジネスの在り方を理解し問題点を把握することは非常に重要です。行動経済学・医療経済学の視点や、問題発見・解決型の公共政策や国際比較のアプローチにより、国、自治体、企業、NPO、家族、個人の行動指針や意思決定を分析・研究していきます。



地域一体でより良い福祉や コミュニティを模索

地域社会の課題を地域の人と見つけ解決していく活動や、調査・改善・広報により自治体の制度や政策の改良を目指す活動など、実践的な活動と一体になって研究に取り組む「地域福祉・地域開発」の分野、「ソーシャル・デベロップメント」や「コミュニティ・デザイン」とも呼ばれる分野を実践的に研究します。

多様な分野における ソーシャルワークを探究

病院、ホスピスの患者とその家族、犯罪や非行を犯した人々の社会復帰、いじめや家庭生活での課題への対応、高齢者や障害がある人々の生活援助など、ソーシャルワークが多様な分野で必要とされています。研究室ではソーシャルワークを体系的に捉え、対人支援のスキルを実践的に身に付けていきます。

メンタルヘルスに関する研究

人間関係や社会環境から 「こころの健康」に向き合う

「こころの健康」には、身体面と精神面、そして人間関係や社会環境とのつながりを踏まえてアプローチすることが必要です。多職種が連携し、統合的なサポートを行うことも大切。研究室では、個人や家族、組織、社会の各レベルを視野に入れ、ソーシャルワークの理論や対人支援スキルも身に付けながら研究を進めます。



栄養や体の機能に関わる研究

食と健康を科学する

「栄養代謝のメカニズム探索」「植物や食品の成分探索」「健康寿命のメカニズムの解明」といった基礎研究から「人間栄養学の観点からの食育」「疾病予防や健康維持・増進を目指した運動と栄養の実態調査」などの応用研究までを通じ、専門スキルと問題解決能力を習得。さまざまな企業と連携を図ることも特徴です。



体力や運動に関する研究

運動を通して 人々の健康づくりに貢献

運動の効果的な実践・指導法の開発に加え、体力・身体機能の測定評価を基にした運動効果のメカニズム解明、運動の心理的効果などについて探究していきます。また、本学科の特徴を生かして各分野と連携しながら、運動を広め、そして継続させるための仕組みについても研究していきます。



社会調査・データを用いた研究

健康に関するあらゆるデータを 解析し実現化へつなげる

機能性食品の効果、健康診断、メンタルヘルス、福祉サービスの利用満足度などを、時系列解析、機械学習、心理分析などの数理モデルを駆使して、「科学的なエビデンス」に基づいて分析します。ライフケアセンターで行う産官学共同研究にも参画し、企業や自治体とも積極的に協同しながら、研究を進めていきます。

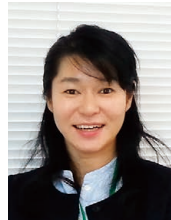


健康分野で活躍する プロフェッショナル



阿部 正昭 教授 ABE, Masaaki

- ①博士(社会学)
介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員
- ②ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習など
- ③介護福祉学：介護職を中心とした職業エートスの形成と職場組織のマネジメントなど



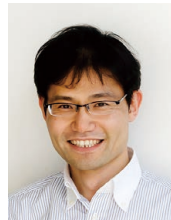
菅野 和恵 准教授 KANNO, Kazue

- ①博士(教育学)
公認心理師、学校心理士、言語聴覚士
- ②心理学、ソーシャルワーク演習など
- ③知的発達障がい心理学：知的障がいや発達障がいのある人の心理や支援方法に関する研究、特別支援教育など



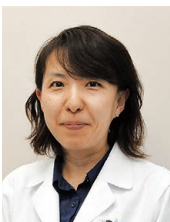
有賀 誠司 教授 ARUGA, Seiji

- ①修士(体育学)
特別上級トレーニング指導者、健康運動指導士
- ②健康づくり運動の理論とプログラム、健康づくり運動の実技と指導など
- ③トレーニング科学：対象や目的に応じたトレーニングの方法や指導法に関する研究など



古城 隆雄 准教授 KOJO, Takao

- ①博士(政策・メディア)
専門社会調査士
- ②健康政策、ヘルスリサーチ入門など
- ③地域医療・へき地医療政策、政策疫学、医療分野の公共哲学



池内 眞弓 准教授 IKEUCHI, Mayumi

- ①博士(海洋科学)
保健師、助産師、看護師、第一種衛生管理者
- ②心と身体のしくみ、機能栄養学と食品開発、加齢と栄養など
- ③栄養や生活習慣と健康に関する研究、食品・栄養成分の機能性に関する研究、生理活性作用を有する食品素材の探索、高次脳機能の向上に関する研究など



小林 理 准教授 KOBAYASHI, Osamu

- ①修士(社会学)
社会福祉士
- ②子ども家庭と福祉、福祉サービスの組織と経営など
- ③子どもの貧困と家庭支援：豊かな社会における格差の課題、特に子どもの育ちと家庭の格差の課題への対応と支援活動についての研究など



市川 享子 講師 ICHIKAWA, Kyoko

- ①博士(学術)
高等学校公民科・地理歴史科専修免許、中学社会科専修免許
- ②コミュニティデザイン論、フィールドワークなど
- ③人々のつながり(紐帯)と社会変容のための中間(メゾシステム)の生成に関する研究
1) 当事者(住民)を主体とした地域開発
2) サービス・ラーニング理論とその批判的考察



佐原 啓二 教授 SAHARA, Keiji

- ①博士(獣医学)
獣医師
- ②公衆衛生学、フィールドワークなど
- ③食品微生物学・感染症学：食中毒(腸管出血性大腸菌、カンピロバクター、ノロウイルスなど)、感染症(インフルエンザ、レジオネラなど)の発生要因と制御に関する研究



遠藤 慎也 助教 ENDO, Shinya

- ①博士(スポーツ健康科学)
中高老年期運動指導士、日本体育協会公認 テニス指導員、健康運動実践指導者
- ②機能解剖とバイオメカニクス、運動による外傷・障害と救急処置など
- ③コンディショニング科学：疲労回復や身体機能低下抑制のためのコンディショニング方法の探索



柴田 健雄 講師 SHIBATA, Takeo

- ①博士(医学)
- ②健康統計学、健康情報解析法など
- ③健康医科学：機能性食品のヒト試験、Health resort medicine研究、メンタルヘルス研究・心理分析、健康診断データの解析、がん遺伝子データベースの解析、運動効果の評価研究、ヘルスプロモーションの効果評価とコホート研究



岡本 武志 講師 OKAMOTO, Takeshi

- ①博士(スポーツ科学)
健康運動指導士
- ②健康と運動の生理学、運動療法と介護予防演習など
- ③身体的不活動が引き起こす運動器(筋肉や骨)の機能低下のメカニズム解明、不活動に伴う運動機能低下の予防・改善のための運動方法の検討など



竹内 友章 助教 TAKEUCHI, Tomoaki

- ①修士(人間福祉)
- ②フィールドワーク、ソーシャルワーク演習など
- ③既存の社会福祉制度や実践では応じきれない社会的課題に、公私のセクターを超えて解決していく社会起業をテーマとする実践研究



教員プロフィール内容

①学位・資格 ②担当科目 ③研究分野



舩松 克代 准教授 HENOMATSU, Katsuyo

- ①博士(医学)
精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士、SST認定講師
- ②ソーシャルワークの理論と方法、ソーシャルワーク演習など
- ③親と子のストレス低減を目指す森林セラピー、ソーシャルスキルトレーニングの効果研究、産学分野での認知行動療法の短期介入研究など



中越 章乃 講師 NAKAGOSHI, Ayano

- ①博士(社会福祉学)
精神保健福祉士、社会福祉士
- ②精神保健の課題と支援、精神障害リハビリテーション論など
- ③精神科ソーシャルワーク、精神科長期入院者の退院支援、多機関連携に関する研究



堀 真奈美 教授 HORI, Manami

- ①博士(政策・メディア)
- ②健康経済論、健康と産業など
- ③公共政策(医療経済・健康経済): 公共政策研究(特に保健・医療・福祉に関する研究)、社会保障制度の国際比較、医療費の計量分析など



中野 いずみ 教授 NAKANO, Izumi

- ①修士(社会学)
社会福祉士、認知症ケア専門士
- ②ソーシャルワーク実習、高齢者と福祉など
- ③地域における高齢者の生活支援、養護老人ホームにおけるソーシャルワークに関する研究など



堀越 由紀子 教授 HORIKOSHI, Yukiko

- ①修士(社会福祉学)
社会福祉士・認定スーパーバイザー、精神保健福祉士
- ②ソーシャルワーク基礎、ソーシャルワークの理論と方法など
- ③医療ソーシャルワークの特質に関する歴史社会学的分析、ソーシャルワークスーパービジョン体制構築の実践的研究など



長沼 洋一 講師 NAGANUMA, Yoichi

- ①博士(保健学)
精神保健福祉士
- ②精神医学、精神保健ソーシャルワークの理論と方法など
- ③キャンパス・ソーシャル・ワーク: 大学におけるソーシャルワーク活動の研究
学生支援: 学生のメンタルヘルスや相談行動に関する研究



宮沢 正樹 講師 MIYAZAWA, Masaki

- ①博士(医学)
- ②分子栄養学、老年医学、生命科学の基礎など
- ③老化の分子メカニズム、細胞内の鉄の代謝メカニズム、がん進展制御の研究など



西垣 景太 准教授 NISHIGAKI, Keita

- ①修士(体育学)、博士(心理学)
健康運動指導士、トレーニング指導者、全日本スキー連盟公認指導員・B級検定員
- ②健康と運動の心理学、健康づくり運動の実技と指導など
- ③健康運動に関する心理学: 特に幼少期の運動環境に関する研究、心理学的効果(情動知能・脳波・メンタルヘルスなど)についての研究



妻鹿 ふみ子 教授 MEGA, Fumiko

- ①博士(公共学)
- ②健康と福祉、地域福祉と包括的支援など
- ③人々の支え合いによってコミュニティにつくり出される居心地のよい居場所についての研究: その構造と価値
ケアを基盤とする共生社会構築のためのケア概念・ケア倫理についての研究



西村 昌記 教授 NISHIMURA, Masanori

- ①博士(社会福祉学)
- ②社会学、社会調査法など
- ③高齢期のQOL/QOD、ジェネラティブティの視点による多世代共生の研究、ストレスプロセス・モデルを用いた家族介護研究など



森 真理 准教授 MORI, Mari

- ①博士(学術)
管理栄養士、高血圧・循環器病予防療養指導士
- ②健康と栄養、食品の科学など
- ③若い世代の食習慣と生活習慣病リスクに関する研究、身体に優しい食環境の実現に向けての科学的根拠に基づく献立開発、運動実践者などさまざまな対象者への食育効果の検証、食品の美食試験など



菱川 愛 教授 HISHIKAWA, Ai

- ①修士(文学)
精神保健福祉士、Signs of Safety® 認定トレーナー、子どもの事実確認面接スペシャリスト
- ②ソーシャルワークの理論と方法、ソーシャルワーク基礎など
- ③ソーシャルワークの理論と実践のインターフェイス、ソーシャルワークの面接、フォレンジック・インタビューなどの対人援助技術



安田 佳代 講師 YASUDA, Kayo

- ①博士(医学)
臨床検査技師、衛生検査技師
- ②代謝と栄養、基礎栄養学など
- ③エネルギー代謝が及ぼす酸化ストレスと老化の関連性および、老化を指標とした機能的栄養物質の探索など



将来の道

健康分野のマネジメント リーダーとして活躍。

健康に関する幅広い知識に基づく発想力や実践力を社会で生かし、自治体や企業などにおいて、新しいサービス・商品の開発や多分野にまたがる企画の実施などを中心となって行う、リーダー職を目指すことができます。



【目指せる資格】

社会調査士

【履修分野のイメージ】

ソーシャルウェルネス+ソリューション+健康と運動+メンタルヘルス+健康と栄養

ソーシャルワーカーとして 人々の生活を支える。

自治体や企業などで、人々の生活を支えるための専門性を発揮できます。指定された科目を修得すると、「社会福祉士」「精神保健福祉士」の国家試験受験資格が得られます。



【目指せる資格】

社会福祉士(国家試験受験資格)、精神保健福祉士(国家試験受験資格)

【履修分野のイメージ】

ソーシャルウェルネス+ソリューション+メンタルヘルス

栄養の専門家として 商品・サービスを開発する。

「実験や分析」を通じて得た経験や発想力、分析力などを生かし、例えば、栄養の知識を生かした商品やサービスの開発を行う職種や栄養の知識を伝授する指導者、測定の特化スペシャリストを目指すことができます。



【目指せる資格】

NR・サプリメントアドバイザー

【履修分野のイメージ】

ソーシャルウェルネス+ソリューション+健康と運動+健康と栄養

運動の理論と技能に基づき、 健康増進や疾病予防に貢献する。

運動の理論や指導力を生かし、民間および公共スポーツ施設、医療機関、運動指導の受託会社、健康づくりイベントの企画、自治体における地域の疾病・介護予防事業などで活躍できます。



【目指せる資格】

健康運動実践指導者、トレーニング指導者、フィットネスクラブ・マネジメント技能士(国家資格)

【履修分野のイメージ】

ソーシャルウェルネス+ソリューション+健康と運動

企業 VOICE 企業が健康学部を期待すること

健康学部キックオフシンポジウムに参加された企業・行政・メディアの方々からコメントを紹介します。

Voice 01 経済産業省商務情報政策局 富原 早夏氏

生活習慣の領域では行動変容と言われますが、産業や町、コミュニティが健康に向けた環境に変えていくことが重要。ここに暮らしているだけで、日本の食べ物食べているだけで、自然に健康になっていくような社会づくりや経済的なインセンティブの設計が求められています。そのためにも、幅広い視点と専門性を持って、健康に関する課題を設定し、課題解決ができる人材が必要です。健康学部を期待します。

Voice 02 株式会社リコー研究開発本部 戸塚 卓志氏

テクノロジーの進歩は早いので、それぞれの領域の知識技能は古くなるのも早いです。だからこそ、健康に関係する個別の専門知識だけでなく社会的な見地や動向をみて、10年・20年後にどのようなものが必要か、解くべき課題を見抜く力と好奇心のある人材が必要と感じています。健康学部の皆さんに期待します。

Voice 03 東急不動産株式会社 小室 明義氏

「健康経営」はどの業界でも重要視されています。健康分野のさまざまなサービスを理解した上でそれらをつないでいく能力と、企業では、投資効果や費用対効果を踏まえて実施する必要があります。そうしたマネジメント能力とネットワーク、コミュニケーション能力を持った人材養成を期待します。

Voice 04 日本経済新聞 木村 彰氏

医学だけでは対応できない健康問題は少なくありません。健康を維持するための要素として、運動、栄養、メンタルヘルス、ソーシャルをサポートできる総合的人材を、養成してほしいと期待しています。



取得可能な資格

● 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格	社会生活の中で生じる困難に対して、相談援助に関する技術、法律や制度の知識を持って関わるソーシャルワーカーの国家資格。高齢、児童、障害、教育、医療などの現場で活躍。
● 健康運動実践指導者受験資格	健康づくり運動の指導の知識・技能などをもち、実践指導を行うための資格。
● トレーニング指導者受験資格	科学的根拠に基づき適切な運動のプログラム作成、効果的な指導を行うための資格。
● 社会調査士	世論や市場動向、社会現象等の分析技術と統計的知識を有する社会調査のエキスパートとしての資格。
● NR・サプリメントアドバイザー受験資格	保健機能食品、サプリメントについて、専門的観点から個々の栄養状態を評価しアドバイスを行う資格。
● フィットネスクラブ・マネジメント技能士受験支援	フィットネス産業で求められる接客や施設・設備管理などの基礎知識や店舗運営に関する資格。

個性を伸ばす学びの場



スタジオ



自習室



ウェルネス・ラボ



パーソナルトレーニングルーム



実習室

日々の体験と学びが、個性を育てる

日頃より、自分自身の健康情報の収集、企業の展示、「ロコモ度テスト」などに接することができる環境に加え、自習室・グループ学習室を整備。小さな興味をより深い学びにつなげることができる環境を整備しています。



コミュニティーラウンジ



マルチラボ

「集い」を大切にできるスペース

友人や先生と、いろいろな話や食事ができるフリースペースを整備。楽しく、自主的に学修できる環境づくりを行っています。

実践を重視する 実験・実習スペース

自分の身体を動かすことに加え、指導力の向上を目指し、別室でモニタリングも可能な、パーソナルトレーニングルーム。同様の機能でソーシャルワークの技術を身に付けていくコミュニケーションラボを設置。多目的で利用するマルチ・ラボや栄養系の実習室も活用し、より実践的に“力”を身に付けていきます。



東海大学は4つの力を育成します。

「明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性を持った人材」に育つよう、全学を挙げて取り組んでいます。

常に未来を見据え自らが
取り組むべき課題を探索する力

多様な人々の力を
結集する力

困難かつ大きな課題に
勇気を持って挑戦する力

失敗や挫折を乗り越えて
目標を実現していく力



東海大学が育成する力 東海大学では建学の精神に基づき、「自ら考え、集い、挑み、成し遂げる」これら4つの力を身に付け、時代に即応できる人材を育成します。

各学部・学科のアドミッション・ポリシーは、東海大学受験生情報サイトにてご確認ください。

<https://www.tokai-adm.jp>



ぐるっと360° Campus 東海大学を見てみよう!

全国にある東海大学の
キャンパスも
バーチャルツアー
体験できます!



Mobile



PC



www.tokai-adm.jp
受験生情報サイト

オープンキャンパスや
入試情報をはじめ、
キャンパスライフなどの
コンテンツが満載。



2022年度 全学的改組改編を構想中!

日 本
ま る ごと
学 び 改 革
実 行 プロジェクト

「日本まるごと学び改革実行プロジェクト」として建学80周年にあたる2022年度に全学的な改組改編を構想中です。特設サイトで公開していく予定です。

<https://tokai-marugoto.jp/>

